

世界遺産登録 20 周年記念シンポジウム 「那智大滝と地域の未来」

那智勝浦町では、熊野信仰の象徴でもあり那智勝浦町の顔ともいえる「那智大滝」を、源流域の保全を通じ、保水力の向上を図り、未来永劫滔々と流れる姿を守り、後世へと引き継ぐことを目指している。世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の登録 20 周年を記念して開催された、根津美術館での「那智瀧図」の特別展示、東京大学でのシンポジウム「自然への祈りと那智大滝」、そして、この度シンポジウム「那智大滝と地域の未来」の開催を通して、これからも改めて那智大滝の歴史と文化の価値を知っていただき、「那智大滝」が滔々と流れる姿を守り、保全につなげていく意識の高揚を図ることを目的とする。

講演

令和 7 年 2 月 22 日 (土)
12 時 45 分開場 13 時 15 分開始

【基調講演】 13 時 30 分ー

那智大滝と信仰のかたち ー 滝・神・観音の重なり ー



大河内 智之 氏
奈良大学文学部文化財学科准教授

平成 13 年から令和 3 年度末まで和歌山県立博物館に学芸員として勤務。専門は日本美術史。これまでに県立博物館の「熊野・那智山の歴史と文化」(平成 18 年)、「熊野三山の至宝」(平成 21 年)、「高野山麓 祈りのかたち」(平成 24 年)、「熊野・聖地への旅」(平成 26 年)などの特別展を担当・開催している。

14 時 10 分ー

那智参詣曼荼羅の魅力 山本 殖生 氏

国際熊野学会代表委員・熊野三山協議会幹事

1972 年より新宮市教育委員会の文化財関係担当者として、文化財の調査・研究に携わる。1983 年からはみくまの総合資料館準備室の学芸員として、熊野地域とりわけ熊野信仰の調査・研究を行う。熊野の世界遺産登録、国際熊野学会の設立にも尽力した。主著に『世界遺産〈川の参詣道〉熊野川の魅力』、『熊野八咫鳥』など

那智参詣曼荼羅絵解き実演 生熊 みどり 氏 熊野那智ガイドの会

2013 年に那智勝浦町に Uターンし、2014 年 10 月より熊野・那智ガイドの会に入会。比丘尼の装束で当時の熊野曼荼羅絵解きを実践。主な絵解き実演として、明治大学「熊野那智大社創建 1700 年・那智山青岸渡寺西国 33 所草創 1300 年シンポジウム」(2017 年)、京都橘大学「熊野学講座」(2019 年)、八咫鳥シンポジウム(2021 年)、東京大学ニューヨークオフィス「熊野への招待」(2023 年)、他多数。

【記念講演】 14 時 50 分ー

瀧の力、森の力



隈研吾 氏 建築家

1990 年、隈研吾建築都市設計事務所設立。慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授・名誉教授。50 を超える国々でプロジェクトが進行中。自然と技術と人間の新しい関係を切り開く建築を提案。主な著書に『隈研吾オノマトペ建築接 地性』(エクスマレッジ)、『日本の建築』(岩波新書)、『全仕事』(大和書房)、『点・線・面』(岩波書店)、『負ける建築』(岩波書店)、『自然な建築』、『小さな建築』(岩波新書)、他多数。

15 時 30 分ー

那智大滝周辺の植生環境 瀧野 秀二 氏 熊野自然保護連絡協議会会長

熊野学研究委員会 自然部会長。
吉野熊野国立公園において、長年、自然解説、動植物の調査研究を行うなど、自然保護思想の普及啓発、動植物の保護等に尽力。

会場案内

那智山青岸渡寺 信徒会館

〒649-5301
和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山 8
紀伊勝浦駅からバスで約 30 分+徒歩約 15 分



会場付近には駐車場(有料)がございますが、数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。その他詳細については、町 HP をご覧ください。

お申込方法

※参加費無料
※定員：現地参加 200 名(先着順)及びオンライン配信定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。

電子申請又は電話・FAX にてお申込みください。

電子申請

右の申込フォームからお申込みください。

電話

0735-29-2007

FAX

0735-52-3011

下記ご記入の上、こちらの用紙をお送りください。



申込フォーム

氏名	住所	
電話番号	メールアドレス	

※記載いただいた個人情報は、お申込以外の目的には使用いたしません。

お問い合わせ先：那智勝浦町観光企画課 TEL：0735-29-2007